

## Imaging Team

### 掲載内容

#### 新製品情報

Q Imaging から Retiga-EXL が登場しました。

Chamlide マグネチックチャンバのベースプレートが改善されました。

Meta Imaging Series バージョン 7.1.7 がリリースされました。

#### デモ機情報

PrecisExite の 445/465nm 用 LAM モジュールを用意しました。

Piezo Z ステージ用に 35mm ディッシュ対応 Chamlide チャンバを用意しました。

ImagEM Enhanced を用意しました。

#### 価格表情報

40168 Photonic Instruments 社製 MicroPoint 制御ドライバ、40158 Photonic Instruments 社製 Mosaic 制御ドライバ、40178 横河電機社製 CSU2x 制御ドライバについて。

#### ジャーナル紹介

MDA に Journal を組み込み、ScanSlide を各ステージポジションで実行し、つなぎ合わせの高解像度画像(100%解像度)を MDA の画像として保存し、タイムラプスが可能になるジャーナル

#### その他

Meta Imaging Series バージョン 7.5 について

## 1) 新製品情報

### Q Imaging より Retiga-EXL がリリースされました。

特長として新しい高速 Firewire にてデータ転送を採用していますのでより高速な画像転送が行うことができます。(30MHz 呼び出し可能)

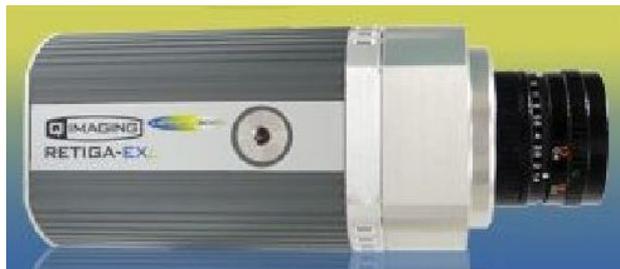
主な仕様

CCD 素子 : Sony® ICX285 front-illuminated interline CCD

画素数 : 1392 x 1040                      素子サイズ : 6.45 $\mu$ m x 6.45 $\mu$ m

転送レート : 30, 20, 10MHz              冷却温度 : 0°C (25°C 環境)

画像分解能 : 8 ビット・14 ビット



※現時点では Meta Imaging Series での動作確認は行っておりません。  
動作および価格につきまして確認が取れ次第報告させていただきます。

### Chamlide マグネチックチャンバがリリースされました。

アルミベースのボトムプレートを新規採用し、マグネットがあたる部分に磁性対応しました。  
メタルをはめ込むようにして、耐久性を向上させました。

### Meta Imaging Series バージョン 7.1.7 がリリースされました。

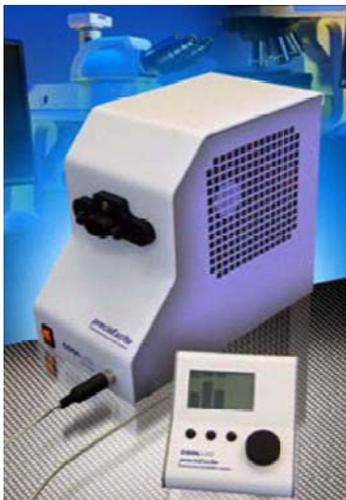
改良点は以下ようになります。

- Multi Dimensional Acquisition におけるオリンパス製 ZDC の動作改良
- オリンパス製電動顕微鏡の透過光ランプボタンの動作改良
- MetaFluor におけるタイムラプスの動作改良

## 2) デモ機情報

### PrecisExite の 445/465nm 用 LAM モジュールを用意しました。

400nm, 465nm, 525nm に加えて CFP/YFP FRET に対応できる 445/465nm 用 LAM モジュールを用意しました。



Chamilide シリーズの Piezo Z ステージ用 35mm ディッシュ対応のチャンバを用意しました。  
ピエゾ Z ステージ上にマグネチックチャンバ(または 35mm ディッシュ)を置いて使用します。



浜松ホトニクス社製 ImagEM 改良版 ImagEM Enhanced を用意しました。  
ImagEM Enhanced は従来の ImagEM に新たな機能(EM ゲインプロテクト機能 / EM ゲイン再調整機能 / ダイレクト EM ゲイン機能)を搭載し、蛍光ライブセルイメージングなど高ゲインでの使用に際して、安定性と操作性を大幅に向上しております。



※Meta Imaging Series バージョン 7.1.x では ImagEM Enhanced の上記新機能を制御することはできません。次期 Meta Imaging Series バージョン 7.5 からサポートする予定です。

### 3) 価格表情報

40168 Photonic Instruments 社製 MicroPoint 制御ドライバ、40158 Photonic Instruments 社製 Mosaic 制御ドライバ、40178 横河電機社製 CSU 制御ドライバの型番・定価を下記のように設定しました。

40168 Photonic Instruments 社製 MicroPoint 制御ドライバ ¥ 700,000-

40158 Photonic Instruments 社製 Mosaic 制御ドライバ ¥ 700,000-

40178 横河電機社製 CSU 制御ドライバ ¥ 700,000-

※CSU21, CSU22 を制御する場合に必要なになります。CSU-X1 については現在ドライバ開発中です。  
CSU10 のシャッター制御の場合は 40178 ではなく 40010 イルミネーションドライバまたは 31020 シャッターデバイス制御ドライバが必要になります。

※次期 Meta Imaging Series バージョン 7.5 から CSU-X1 をサポートする予定です。CSU-X1 を制御する場合、必ずバージョン 7.5 へのアップデートが必要になります。

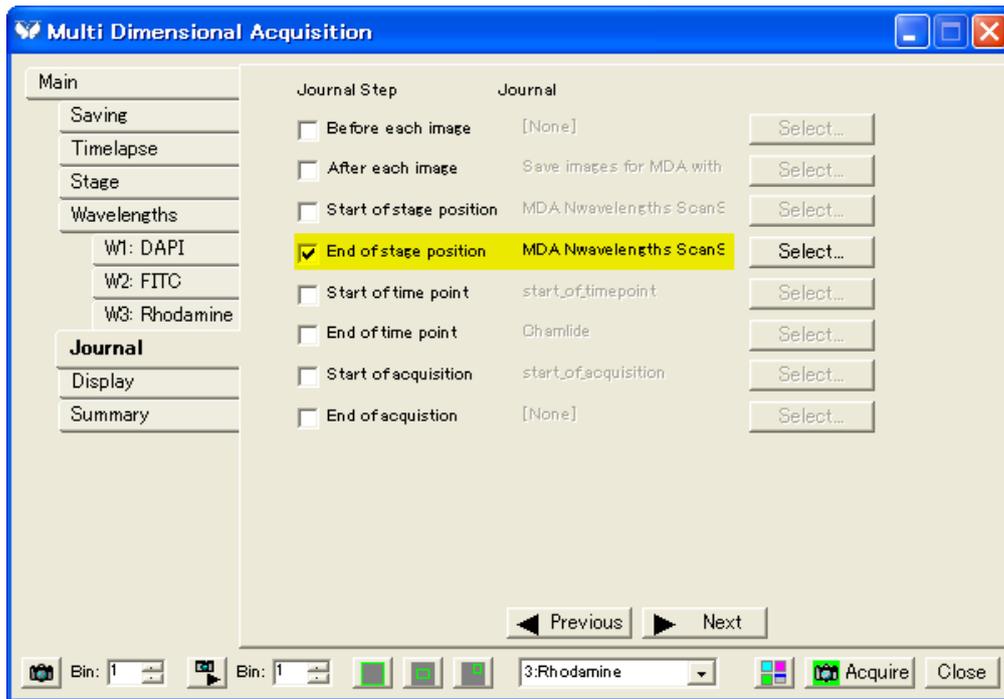
※上記 3 アイテムは MetaVue, MetaFluor には追加できません。

#### 4) ジャーナル紹介

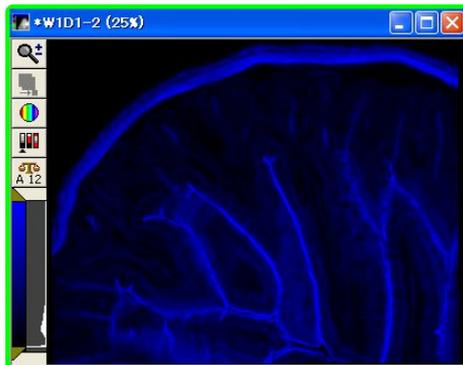
多点タイムラプス(t, λ, P)において、スキャンスライドを行い、Review Multi Dimensional Data で画像を表示できる Journal について

本ジャーナルは Multi Dimensional Acquisition にジャーナルを組み込んで、多点タイムラプスを行いながら、各ポジションでスキャンスライド(多波長)を行い、さらに Review Multi Dimensional Data でつなぎ合わせた画像の表示を可能にしたものです。

- ① Multi Dimensional Acquisition を起動し、Main のタブより、Run Journal にチェックを入れ、Journal のタブで End of stage position にジャーナルを設定します。



- ② Acquire をクリックして画像取得を開始しますと、各ポジションでスキャンスライドを行い、つなぎ合わせた画像を各ポジション毎に保存します。



Experiment138\_w1D1\_s1\_t1.tif  
Experiment138\_w1D1\_s1\_t2.tif  
Experiment138\_w1D1\_s2\_t1.tif  
Experiment138\_w1D1\_s2\_t2.tif  
Experiment138\_w1D1\_s3\_t1.tif  
Experiment138\_w1D1\_s3\_t2.tif  
Experiment138\_w1D1\_s4\_t1.tif  
Experiment138\_w1D1\_s4\_t2.tif  
Experiment138\_w1D1\_s5\_t1.tif  
Experiment138\_w1D1\_s5\_t2.tif  
Experiment138\_w1D1\_s6\_t1.tif  
Experiment138\_w1D1\_s6\_t2.tif

つなぎ合わせ  
した画像

5) **その他**

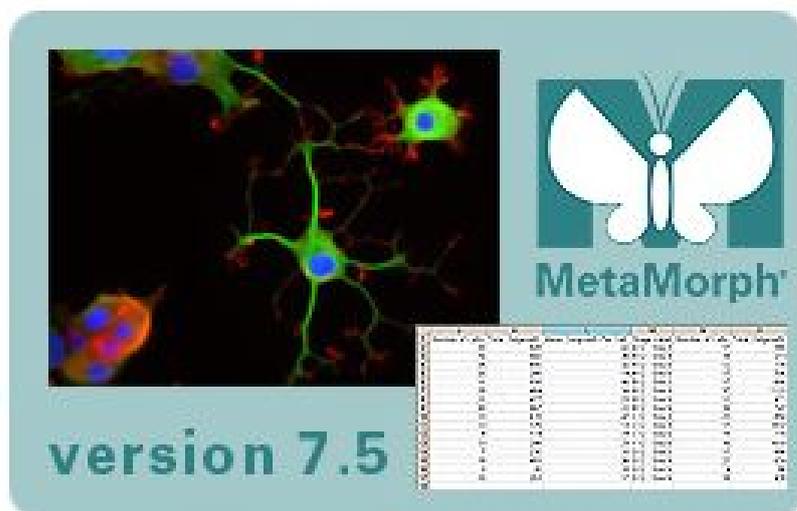
2008年に **Meta Imaging Series バージョン 7.5** がリリースされる予定です。

リリース時期、詳細などがわかりましたら改めて連絡させていただきます。

乞うご期待！！

なお、バージョン 7.0, 7.1 からバージョン 7.5 へアップデートは、通常のアップデート作業で行うことができます。メンテナンス期限を過ぎている場合は、31286 1年間 WEB ベースアップデートプログラム提供費用 ¥50,000-が必要となります。

バージョン 6 以前の場合は、バージョン7へのアップグレード費用 (MetaMorph Basic の場合 ¥230,000-)が必要になります。



主な特長は下記のようになります。

- 64-Bit Support and Windows Vista Support
- 4D Viewer/3D Measurement Module
- Updated 2D Measurement Module

**今年 1 年大変お世話になり、ありがとうございました。**

**2008 年も社員一同全力を尽くしますのでよろしく願いいたします。**

以上